

参考資料

宮崎県 A 市内の葉たばこの生産をしておられる農家の皆さん

宮崎県 A 市内の葉たばこの生産をやめられた農家の皆さん ヘ

葉たばこ耕作継続に関する意識調査へのご協力のお願い

全国で葉たばこ耕作を継続する農家さんが年々減少しております。平均買い入れ価格が23年答申で1869円/kgから24年答申で1890円/kgと前年比で1%上昇にもかかわらず、全国の耕作面積は前年比で6.6%に減少しております。それだけ廃作傾向が強くなってきております。

国内でのたばこ消費が年々減少していることから「葉たばこの将来展望が開けない」とか、「廃作奨励金が今なら支払われる」や「耕作者の高齢化」などが主な理由としてあげられております。

他方で、廃作後の耕作地の転用等に関して経済的支援、技術的支援を含めてどのような支援策が必要かといった、環境激変回避の行政措置の必要性も高まっております。

以上の状況を踏まえ、宮崎県 A 市「平成23年度契約」葉たばこ農家の皆さん（平成24年度廃作の農家さんも含む）に、

① 葉たばこ耕作の継続と廃作の選択を左右する要因、

その場合の

② 行政的支援のありかた等について

率直なご意見をお聞かせいただきたく存じます。

なお、この調査にお答えいただくに際して個人情報として重要な項目は一切外部には出しません。
また調査者本人も「匿名性」を最優先し、皆様の回答とご本人とが一致することがないようにいたします。ぜひ、事実のみをお答えください。

この調査は私が専門としております産業政策と地域政策の観点から、学術研究上の基礎データとして活用いたします。また、得られた調査分析および研究として論文にまとめられます。

以上をご勘案の上、調査にご協力をいただきたくここにお願い申し上げます。

中央大学大学院公共政策研究科

教授 細野助博

〒192-0339 東京都八王子市東中野742-1

中央大学総合政策学部棟5階 細野助博研究室

TEL 042-674-4140

hosono@fps.chuo-u.ac.jp

調査票

(ご質問)

皆さんのことをお教えください。

1. あなたは何歳ですか? ······ () 歳
あなたは何代目ですか? ······ () 代目
主たる働き手はあなたをのぞき何人? ··· (あなたの他に) 人
後継者はいらっしゃいますか? ······ (いる、いない)
2. 耕作面積は全部でどれほどですか? ····· (a)
3. うち、葉たばこ耕作面積は? ······ (a)
4. うち、葉たばこ廃作面積は? ······ (a)
5. うち、水田面積は? ······ (a)
6. うち、葉たばこを除く畑作面積は? ····· (a)
7. 果樹栽培は、何を栽培? ····· ()
8. 畜産等は? ······ 鶏(羽) 豚(頭) 牛(頭)

B. 葉たばこ耕作について教えてください。

1. 葉たばこ耕作の意向で当てはまるものに、ひとつだけ○をつけてください。

- a 葉たばこ耕作を今後も続ける
- b 葉たばこ耕作は続けるが一部減反する
- c 葉たばこは完全に廃作した

2. その理由は何ですか? 当てはまるものは、いくつでも○をつけてください。

- a 安定した収入が得られるから
- b 廃作奨励金がもらえたから
- c 後継者がいないから
- d 歳をとって作業がきつくなったから
- e 仲間が廃作したから
- f その他(具体的に)

3. 葉たばこを減反あるいは廃作した農家の方々にお聞きします。

減反あるいは廃作した耕作地はどうされていますか?

転換に該当する作物名などに、いくつでも○をつけてください。

- a さといも
- b 食用かんしょ
- c 原料用かんしょ
- d 薬用作物

e 馬鈴薯 f 露地キュウリ g 飼料用稻 h ごぼう i ほうれんそう
j たまねぎ k 耕作放棄
l その他（具体的に）

<ウラ面もございます>

4. 葉たばこ耕作を継続しておられる農家の方々にお聞きします。

葉たばこ耕作を継続するため、どのような支援を望みますか？

- a 災害援助金の割増
- b 品質収量安定化のための現物支援
- c 使用頻度の高い機械等の更新への助成
- d 共同利用施設の更新
- e 買い入れ価格の上昇

最も重要な支援は・・・・・ ひとつだけ○ (a. b. c. d. e)

2番目に重要な支援は・・・ ひとつだけ○ (a. b. c. d. e)

5. 葉たばこ耕作を継続しておられる農家の方々にお聞きします。

葉たばこ耕作を減反あるいは廃作する場合は、

どのような支援を望みますか？いくつでも○をつけてください。

- a 転換に必要な技術支援
- b 補助事業の情報提供
- c 研修会や経営指導
- d 転作成功例の情報提供
- e 転用作物の販売先確保
- f 転用作物用資材や機械・施設導入助成
- g 制度資金の拡充
- h その他（具体的に）

ありがとうございました。最後にご意見があれば、なんでもお書きください。

ご多用中恐れ入りますが、返信用封筒（あて先：中央大学 細野研究室）に記入がお済みになった

この調査票（1枚）を封入りし、今月の 2月13日（水）までにポス
トに投函してくださいようお願いします。

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体 の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
尾崎米厚	わが国の喫煙問題	大井田 隆、中村正和、尾崎哲則	特定健康診査・特定保健指導における禁煙支援から始めるたばこ対策	日本公衆衛生協会	東京	2013	1-22
Sukehiro Hosono	Beyond the Formal Approach?	Y. Adachi, J. Iio, and S. Hosono (eds.)	The Policy Analysis in Japan	Polity Press	London	2015(予定)	未定
細野助博	ガバナンスの復権とボトムアップ型政策形成	細野助博	新たなローカルガバナンスを求めて	中央大 学出版部		2013	9-30
細野助博	ローカルシステムの空間構造	細野助博	新たなローカルガバナンスを求めて	中央大 学出版部		2013	31-57
細野助博	ローカルガバナンスを支える条件	細野助博	新たなローカルガバナンスを求めて	中央大 学出版部		2013	59-86
細野助博	フォーマルアプローチを超えて? —日本における政策分析およびその活用の可能性をさぐる	足立幸男	日本における政策分析—その現状と課題—			2013	22-30

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
望月友美子	21世紀的課題としての無煙たばこの現状、FCTC や諸外国の対応	公衆衛生情報	vol.43, No.12	4-5	2014
望月友美子	たばこは危険な小さな「化学工場」	心とからだの健康	vol.18, No. 5	14-20	2014
望月友美子 日本学術会議(脱タバコ分科会特任連携委員として提言)	「無煙タバコ(スヌースを含む)による健康被害を阻止するための緊急提言」				2013
望月友美子	【喫煙と健康障害—禁煙支援の理解・普及から「脱タバコ社会」を目指して—】タバコ規制の国際潮流と	日本臨床	71(3)	533-5 39	2013
尾崎米厚, 福島哲仁, 大井田隆, 神田秀幸, 谷畠健生, <u>望月友美子</u>	2010年のタバコ値上げ後のわが国の成人の喫煙行動の変化	日本公衆衛生学会総会抄録集	71	302	2012
埴岡隆, 小島美樹, <u>望月友美子</u>	たばこ対策への歯科保健医療従事者の参画 系統的文献レビュー	日本公衆衛生学会抄録集	71	295	2012
望月友美子	次世代を守るタバコフリー社会の構築に向けて 科学と政策と市民の協働	日本癌治療学会誌	47(3)	537	2012
埴岡隆, 花田信弘, 青山旬, 稲葉大輔, 小川祐司, 尾崎哲則, 小島美樹, 川口陽子, 小林清吾, 千葉逸朗, 平田幸夫, 柴原孝彦, 森田学, 伊東隆利, <u>望月友美子</u> , 一般社団法人日本口腔衛生学会禁煙推進委員会	歯科における禁煙診療の標準化と教育・研修モデル	日本歯科医師会雑誌	65(5)	652	2012

望月友美子(国立がん研究センターがん対策情報センター), 原田正平, 北井暁子, 安達順一, 中村明夫, 北川知行	Tobacco Free Women.TV ソーシャルメディアを活用した女性のたばこ問題解決のための情報共有プラットフォームの形成と今後の展望	日本禁煙学会学術総会プログラム・抄録集	6	113	2012
望月友美子	たばこと肺がん	からだの科学	270号	13-16p	2011
尾崎米厚.	たばこ対策最前線 未成年への対応 未成年者の喫煙対策	公衆衛生情報	42(11): 27-32.	2013	
尾崎米厚	物質使用障害の疫学	精神科治療学	28(増刊号)	10-15.	2013
尾崎米厚	わが国における飲酒行動、アルコール関連問題の現状	Progress in Medicine	33(4)	803-807	2013
尾崎米厚	鳥取県の高校生の喫煙・飲酒行動および生活習慣～実態調査より～	鳥取県高P連会報	76	1-2	2013
Morioka H, Itani O, Kaneita Y, Ikeda M, Kondo S, Yamamoto R, Osaki Y, Kanda H, Higuchi S, Ohida T	Associations between sleep disturbance and alcohol drinking: A large-scale epidemiological study of adolescents in Japan	Alcohol	47(8)	619-28	2013
Itani O, Kaneita Y, Ikeda M, Kondo S, Yamamoto R, Osaki Y, Kanda H, Suzuiki K, Higuchi S, Ohida T	Disorders of arousal and sleep-related bruxism among Japanese adolescents: a nationwide representative survey.	Sleep Med	14(6)	532-41	2013
Hamashima C, Okamoto M, Shabana M, Osaki Y, Kishimoto T	Sensitivity of endoscopic screening for gastric cancer by the incidence method	Int J Cancer	133(3)	653-9	2013
Tanihata T, Kanda H, Osaki Y, Ohida T, Minowa M, Wada K, Suzuki K, Hayashi K	Unhealthy Lifestyle, Poor Mental Health , and Its Correlation Among Adolescents: A Nationwide Cross-Sectional Survey	Asia Pac J Public Health			2012
Osaki Y, Ohida T, Kanda H, Kaneita Y, Kishimoto T	Mobile phone use does not discourage adolescent smoking in Japan	Asian Pac J Cancer Prev	13(3)	1011-4	2012
Osaki Y, Taniguchi S, Tahara A, Okamoto M, Kishimoto T	Metabolic syndrome and incidence of liver and breast cancers in Japan	Cancer Epidemiol	36(2)	141-7	2012

Hosoda T, <u>Osaki Y</u> , Okamoto H, Wada T, Otani S, Mu H, Yokoyama Y, Okamoto M, Kurozawa Y	Evaluation of relationships among occupational stress, alcohol dependence and other factors in male personnel in a Japanese local fire fighting organization	Yonago Acta medica	55	63-8	2012
Kawajiri T, <u>Osaki Y</u> , Kishimoto T	Association of gene polymorphism of the fat mass and obesity associated gene with metabolic syndrome: a retrospective cohort study in Japanese workers	Yonago Acta medica	55	29-40	2012
<u>尾崎米厚</u>	地震災害時および災害後の健康被害について 阪神淡路大震災を例にとつて	厚生の指標	59(11)	30-5	2012
<u>尾崎米厚</u>	【アルコール関連問題】わが国の飲酒運転の現状と今後の対策	公衆衛生	76(3)	200-4	2012
<u>尾崎米厚</u>	未成年者飲酒が減少傾向にある日本 その背景は	アル健協 News & Reports	17(3)	2-6	2012
Osaki Y, Taniguchi SI, Tahara A, Okamoto M, Kishimoto T.	Metabolic syndrome and incidence of liver and breast cancers in Japan.	Cancer Epidemiol.	Sep 2		2011
Munezawa T, Kaneita Y, Osaki Y, Kanda H, Minowa M, Suzuki K, Higuchi S, Mori J, Yamamoto R, Ohida T.	The association between use of mobile phones after lights out and sleep disturbances among Japanese adolescents: a nationwide cross-sectional survey.	Sleep.	34(8)	1013-20.	2011

Osaki Y, Suzuki K, Wada K, Hitsumoto S.	Association of parental factors with student smoking and alcohol use in Japan.	Nihon Arukoru Yakubutsu Igakkai Zasshi.	46(2)	270–8.	2011
尾崎米厚、松下幸生、樋口進。	【職域におけるアルコール問題再考】アルコール問題の疫学 労働者、職場を中心に。	産業精神保健	19(2)	75–79	2011
尾崎米厚。	アルコールによる疾病負荷量(酒害の健康被害の大きさを表す数量指標)。	日本アルコール関連問題学会雑誌特	S5		2011
尾崎米厚。	【飲酒運転対策プロジェクト】わが国の飲酒運転の現状。	日本アルコール・薬物医学会雑誌	46(1)	23–28	2011
鈴木朋子, 中村正和, 他	自治体レベルにおけるたばこ規制・対策の実態把握の試み	日本公衆衛生雑誌	59(12)	879–8 88	2012
中村正和	特集 健康増進計画の評価と「その次」 次期計画に向けて何を重視すべきか たばこ対策の推進をめざして	保健師ジャーナル	68(6)	474–4 81	2012
中村正和	特集 健康日本21(第2次)と社会環境の整備 たばこ規制・対策と環境整備	保健の科学	54(10)	672–6 77	2012
大井田隆, 鷺見学, 足立光平, 中村正和	座談会 成人の喫煙率12%を目指して	日本医師会雑誌	141(9)	1897– 1909	2012

